

農作業コツのコツ

【第9号】

令和2年6月20日
福光農業改良協議会

砺波農林振興センター 南砺班
福光農業協同組合 営農部

- ・ 水稻早生品種の幼穂形成期は、とみちからが6月21日頃、五百万石が6月24日頃と平年より3~4日早いと予想されます。
- ・ コシヒカリ、てんこもり及び直播栽培では、田の中央部分にも亀裂が入り、足が10cm沈む程度の硬さになるまで中干しを徹底しましょう。

早生

「五百万石」の葉色が濃いため、落水期間の長い間断かん水を行いましょ

中生・晩生・直播

田面の硬さが確保できるまで中干しを徹底しまし

水稻の生育状況

(6/16,18: 福光農業改良協議会 良質米実証田生育調査結果)

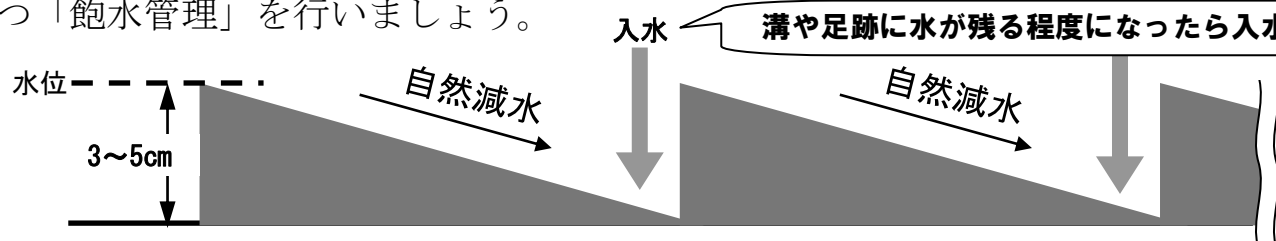
品種名	田植・播種日※		草丈 (cm)		株当茎数・m当茎数(本)※		葉齢 (葉)		葉色		幼穂形成期予想 (幼穂長2mm)		
	R2	平年	R2	平年	R2	平年	R2	平年	R2	平年	R2	平年	
とみちから	5/3	5/3	50.3	46.2	26.9	24.4	10.8	9.8	4.4	4.4	6/21	6/25	
五百万石	5/4	5/3	41.3	39.7	24.6	19.1	10.9	10.4	4.5	4.5	6/24	6/27	
コシヒカリ	5/15	5/13	42.1	36.7	20.6	19.0	9.2	8.8	4.3	4.3	—	7/11	
てんこもり	5/8	5/8	34.0	32.7	26.0	27.8	10.0	9.6	4.5	4.4	—	7/13	
密苗	コシヒカリ	5/17	5/14	37.1	30.7	16.3	21.2	8.5	8.6	4.3	4.2	—	7/13
	てんこもり	5/10	5/10	32.0	30.3	26.3	28.8	9.8	9.1	4.4	4.2	—	7/13
直播	かハコ	5/2	4/29	46.3	36.9	219.0	152.4	9.2	8.4	4.2	4.3	—	7/15
	鉄コ	5/3	4/29	37.8	34.5	162.0	120.8	9.0	8.3	4.2	4.3	—	7/15
	鉄コ	4/30	5/1	34.7	28.7	100.5	131.3	9.4	8.6	4.3	4.3	—	7/20

調査筆数: とみちから3筆 五百万石2筆 コシヒカリ3筆 てんこもり2筆 密苗コシヒカリ4筆 密苗てんこもり2筆 直播は各2筆
※直播の田植日は播種日、株当たり茎数はm当たり茎数

1 水管理

① 「とみちから」は飽水管理

- ・ 「とみちから」は土壌の乾きすぎに注意して、溝や足跡に水が残る程度の湿潤状態を保つ「飽水管理」を行いましょ



② 「五百万石」は間断かん水を継続

- ・ 「五百万石」の幼穂形成期頃の葉色が4.0程度となるように、落水期間の長い間断かん水を行いましょ

③ 「コシヒカリ」「てんこもり」「直播」は中干し、その後は間断かん水

- ・ まだ、中干しを始めていない場合は、速やかに中干しを実施しましょ
- ・ 中干しは、田の中央部分にも亀裂が入り、足が10cm沈む程度になるまで行いましょ。特に、コシヒカリは草丈が長いため、中干しを徹底しましょ
- ・ その後は、入水と軽い田干しを繰り返す「間断かん水」を行いましょ

中干しが遅れると・・・

- 弱勢な分けつが多くなり籾数が多くなる ⇒ 米品質の低下
- 梅雨時期と重なり、中干し程度が弱くなる ⇒ 地耐力が確保できない

2 「とみちから」の穂肥施用

① 肥効調節（一発）体系（基肥：LPs とみちから専用）の場合

- ・ 原則、穂肥は施用しない。
- ・ ただし、葉色4.2を下回ったら、すぐに追肥3号を10a当たり10kg施用しましょ

② 分施肥体系（基肥：基肥555）の場合

- ・ 2回目の穂肥は、1回目の1週間後に施用しましょ

使用する肥料	追肥3号			
	回数	1回目 (6月19日頃)	2回目	3回目
施用時期		幼穂長1mm時	1回目の1週間後	2回目の1週間後
10a 当たり施用量		13kg	15kg	15kg

3 「五百万石」の穂肥施用

①肥効調節（一発）体系（基肥：LPs五百万石専用）の場合

- ・原則、穂肥は施用しない。

②分施肥体系（基肥：基肥 555）の場合

- ・1回目穂肥は、幼穂長が10mm時（6月29日頃）に遅れずに施用しましょう。

使用する肥料 回数	追肥3号	
	1回目	2回目
施用時期	幼穂長10mm時 葉色：3.8~4.0	1回目の1週間後
10a当たり施用量	13kg	15kg

※葉色が濃い、莖数が多い、大豆跡田の場合は、各地区指導員に問い合せください。

4 雑草防除

- ・ノビエ等の残草がある場合は、下表を参考に除草剤を遅れずに散布しましょう。
- ・使用時期や回数など詳しくは、「営農とくらし」P42~49を参照してください。

適用雑草	薬剤名	使用時期		散布時の 水の状態
		移植	直播	
ノビエ	クリンチャー1キロ粒剤 (1.5kg/10a 散布)	ノビエ5葉期まで	ノビエ4葉期まで	湛水
	トドメMF1キロ粒剤			
	クリンチャーEW	ノビエ6葉期まで	ノビエ5葉期まで	落水
	トドメMF乳剤	ノビエ7葉期まで	ノビエ6葉期まで	湛水又は落水
ノビエ	ワイドパワー粒剤	ノビエ5葉期まで	ノビエ4葉期まで	落水又はごく浅水
広葉雑草	クリンチャーバスME液剤	ノビエ5葉期まで		落水

カメムシ斑点米の発生防止のため、水田内の除草と畦畔等の草刈りを徹底しましょう。

5 葉いもち・紋枯病の随時防除

- ・葉いもち、紋枯病の病斑が見られたら、下表を参考に防除を行いましょう。
- ・紋枯病は、早生品種、「てんこもり」及び前年発生が多かったほ場での防除を徹底しましょう。
- ・防除の際は、周辺作物や住宅への飛散防止に努めましょう。

病害名	薬剤名	防除時期	使用時期	使用回数	10a 当たり散布量
葉いもち	ブラシン粉剤 DL	病斑を見つけたら直ちに	収穫7日前まで	2回以内	3~4kg
	ブラシフロアブル				60~150ℓ(1,000倍)
紋枯病	バリダシン粉剤 DL	穂ばらみ期 (幼穂形成期10日後頃)	収穫14日前まで	5回以内	4kg
	バリダシン液剤5				60~150ℓ(1,000倍)

大豆

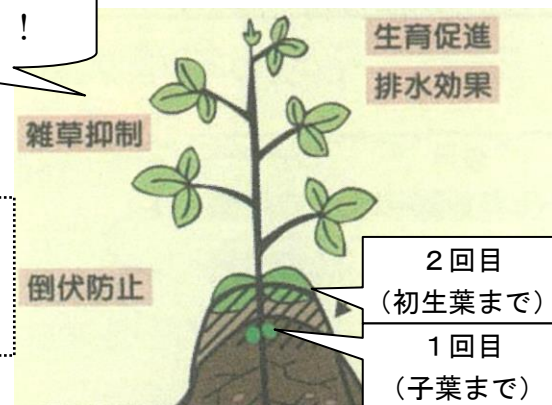
1 培土

5月下旬播種のは場では、1回目培土の時期となっています。早急に行いましょう。

培土の時期と高さの目安（5月30日播種の場合）

- 1回目は本葉2~3葉期（早急に実施）→子葉が隠れるまで
- 2回目は本葉4~5葉期（7月5日頃）→初生葉が隠れるまで

培土で4つの効果あり！



2 溝の手直し

- ・培土後、培土でできた溝と額縁排水溝を確実に連結し、排水対策を徹底しましょう。
- ・降雨の後に、溝に水が停滞している場合は、溝の手直しや排水口の掘り下げを行いましょう。

3 雑草対策

大豆バサグラン液剤やポルトフロアブル等の全面散布する除草剤は、2葉から3葉期（播種後20~25日頃）の間に散布しましょう。 ※「営農とくらし」P79参照